

各 位

盛岡信用金庫

第15回経営者環境力大賞（認定NPO法人環境文明21主催）受賞に係る
顕彰式および発表について

盛岡信用金庫（理事長 浅沼 晃）は、明治36年1月の創立以来「共存同栄」（地域に根差し、地域と共に発展する）の精神のもと、120年の永きにわたり、利益の最大化ではなく、社会課題の解決を使命に取り組んでまいりました。

当金庫では、令和2年6月に公表した「SDGs宣言」に基づき、「経済」「社会」「環境」の3つの柱を軸に持続可能な社会の実現に向け取り組んでおります。

こうした中、認定NPO法人環境文明21が主催する「第15回 経営者環境力大賞」にて、当金庫理事長が大賞を受賞した旨、公表 (<http://www.kanbun.org/kankyoryokutaisyou/index.html>) されております。

この度、2月17日、本賞に係る顕彰式および発表会が行われ（会場・オンライン併用）、受賞者の皆さまとともに、当金庫理事長が「私の環境力～地域と一連托生～」と題し、発表いたしましたので、お知らせします。

なお、発表内容につきましては、別添資料を参照願います。

第15回(2022年度)受賞者一覧 [敬称略、五十音順]

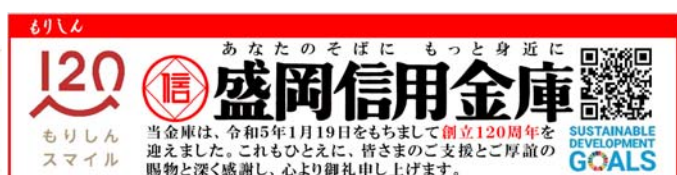
賞	氏名	会社名・役職	所在地
大賞	浅沼 晃	盛岡信用金庫 理事長	岩手県盛岡市
大賞	尾島 敏也	斉藤商事株式会社 代表取締役	埼玉県富士見市
大賞	畑元 浩	株式会社スイシン 代表取締役	群馬県高崎市
大賞	吉本 英代	株式会社ゆいわーく 代表取締役	東京都杉並区
奨励賞	中村 慎一郎	株式会社日精ビーアール 代表取締役	東京都千代田区

【本件に関するお問い合わせ先】

盛岡信用金庫 企画部

（担当：高木）

電話番号：019-623-2221





120

もりしん
スマイル

皆さまに愛されて、120年



信用金庫業界マスコットキャラクター「信ちゃん」

第15回 経営者「環境力」大賞発表会

「私の環境力 ～地域と一蓮托生～」

令和5年2月17日



理事長 浅沼 晃

<当金庫の概要（プロフィール）>

- 本店所在地 盛岡市中ノ橋通一丁目4番6号
- 設立 明治36年（1903年）1月19日
- 店舗数 23店舗
- 会員数 31,969人
- 出資金 18億96百万円
- 総資産 2,740億 7百万円
- 預金残高 2,603億43百万円
- 貸出金残高 1,357億76百万円
- 自己資本比率 8.32%
- 役職員数 常勤役員 7名、職員 234名

（令和4年3月31日現在）



当金庫本店



第9代理事長 浅沼 晃

昭和33年12月 旧盛岡貯蓄銀行の建物を譲受
昭和52年12月 盛岡市の保存建造物に指定

<当金庫の経営理念>

当金庫では、創業の精神である「共存同栄」（地域に根ざし、地域と共に発展する）のもと、一貫して、「**地域社会の発展と、ゆたかな暮らしづくりをめざして**」を基本理念に、「**地域経済**」「**地域社会**」「**地域環境**」の3つの側面から、取引先と地域社会が抱える課題の解決、持続可能な社会の実現に向け取り組んでいます。

コーポレートメッセージ「**あなたのそばに、もっと身近に**」

私たち信用金庫は、協同組織金融機関であり、中小企業などのお客さまをお取引先とし、営業エリアも限定されていますので、地域に根ざした営業活動が求められています。

つまり、「**地域の発展なくして、金庫の発展なし**」「**地域と一蓮托生**」という考えで業務に取り組んでいます。

自治体や企業とパートナーを組み、連携することで、SDGs等への取り組み効果を実現します。

令和2年6月15日、岩手県内6信用金庫で「SDGs共同宣言」を公表



<【参考】当金庫のSDGsマップ>

●地域社会

当金庫は、地方創生に向け、次世代につながる賑わいのあるまちづくりの実現を目指し、多様な人材が活躍できる環境の整備に努めてまいります。

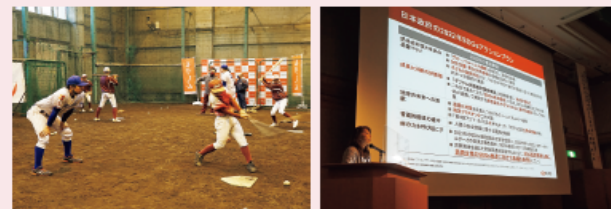


- 盛岡図書館が運営している「象と花」プロジェクトに参画し、各営業店に古本回収ボックスを設置しました。寄付された本は盛岡図書館が販売代金にて新刊本を購入し、岩手医科大学附属病院に入院する子どもたちへ寄贈しました。
- 遠野市「こども本の森 遠野」より遠野支店を通じ、盛岡図書館への本の寄付の相談が寄せられ、協定締結式と古本約4400冊の寄付が行われました。
- 盛岡市内の3児童養護施設に対し書籍を寄贈しました。
- 学生服リユースShop「さくらや盛岡店」の「学生服の回収BOX」を、営業店ロビーに設置しました。なお、同店では、買取査定額と同額を、「子供の未来応援基金」へ寄付しました。
- SDGs取組み定期預金キャンペーン「2021夏」を実施して、新型コロナウイルス感染症対策を目的とした岩手県の関連事業に対し100万円を寄付しました。
- 岩手中学校2年生9名を対象に「職場体験学習」をオンラインで実施しました。
- (公財)岩手県スポーツ振興事業団が主催する「もりしん中学生野球教室」に当金庫野球部職員を講師に派遣しました。
- 第35回岩手県学童軟式野球選手権大会「もりしんカップ」へ特別協賛しました。
- 二戸地区信友会連絡協議会が主催する学童軟式野球大会へ後援・協賛しました。
- 第9回盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」応募作品展示会を開催しました。
- 第5回「もりしん愛の献血運動2021」を実施しました。
- 当金庫役員、部室店長ほか関連部署職員を対象に、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式の吉高まり氏を講師に招き「SDGs-ESG金融に係る研修会」を開催しました。



「岩手医科大学附属病院へ新刊本の寄贈」

「児童養護施設へ書籍の寄贈」



「もりしん中学生野球教室」

「SDGs-ESG金融に係る研修会」

もりしん SDGsマップ

盛岡信用金庫は、国連が提唱する「持続可能な開発目標 (SDGs)」を金庫活動につなげ、地域社会の繁栄に貢献することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは
 持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



●地域経済

当金庫は、地域における課題解決に向け、地域内外などのパートナーと連携し、また共有価値を創造することで地域経済の持続可能な発展に貢献してまいります。



- 「いわて食の大商談会2021」を主催し10企業を推薦しサポートしました。
- 事業者向け事業承継サポートを行う「つくべ若手」を創設し、若手県が加入しました。
- 第16回「ビジネスマッチ東北2022春」へ33企業・団体を推薦しサポートしました。
- 日本政策金融公庫盛岡支店と「コロナ資本性ローン」で連携しました。
- 「もりおかSDGsファンド」へ11社投資を行いました。(令和4年7月31日現在)
- 東京海上日動火災保険㈱とSDGsに関する包括連携協定を締結しました。



「SDGsに関する包括連携協定 (東京海上日動火災保険㈱)」

「ビジネスマッチ東北2022春」

●地域環境

当金庫は、地域の環境保全に積極的に取り組みます。また事業活動においては、環境への負荷を抑えるなど環境に配慮した適切な活動を行ってまいります。



- 第10回紫波企業の森づくり「もりしん・共同栄の森」森林環境保全活動を実施しました。
- グリーンボンド(債券)、ESG関連投資信託、サステナビリティボンド(債券)に投資しました。



「もりしん・共同栄の森」

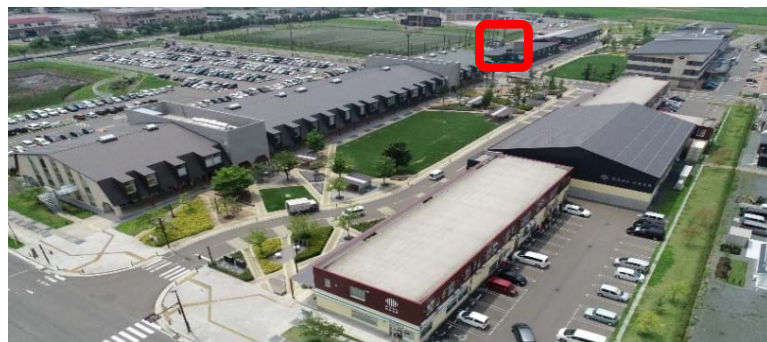
<環境等への取組事例>

■ 「再生可能エネルギー事業」を通じた地域活性化支援

東日本大震災以前より、再生可能エネルギーを活用した事業を継続的に推進・支援することで、「地産地消方式」の環境ビジネスの確立に取り組んでいます。

自治体への提案を行い、地域内で得たエネルギーを地域内で消費し、エネルギー代として地域外へ流出していた資金を地域内で循環させていく、**エネルギー版「地産地消方式」**を積極的に促進しています。つまり、小規模分散型で災害にも強く、新たなビジネス・雇用を創造するとともに、お金も地域内で循環させる**「循環型社会の形成」**に資するものです。

具体的には、紫波中央駅前再開発（オガールプロジェクト）において、紫波町役場、商業施設、宿泊施設、住宅へ**木質バイオマス**を利用した**地域熱供給事業**を行うため、**エリア内に蓄熱管理設とエネルギーステーション建設**を支援しました。



(オガールプロジェクト)

左上：全体写真

左下：全体概略図

右：スキーム図



<環境等への取組事例>

■ 森林環境保全活動（紫波企業の森づくり等）

平成23年11月、**紫波町と「紫波企業の森づくりに関する協定」**を締結し、町における燃料供給態勢確立へ向けての支援事業の一環として、平成24年から令和8年までの15年間にわたり活動を実施します（CO₂吸収量合計：54.95t-CO₂/年）。

森林整備を通じ、二酸化炭素吸収、水源涵養、土砂流出防止等のほか、間伐によって搬出された木材は、木質チップとして再資源化することにより、地域内のエネルギーとして活用されます。

毎年度、職員による「紫波企業の森づくり」が継続されており、育樹作業とクヌギの苗木を植樹するとともに、再生可能エネルギー設備の見学等を実施しています。

その他、平成20年より荒廃裸地化した**「八幡平松尾鉦山跡地」**を**「友情の森」**と名付け、森林再生活動に取り組んでいます。



「紫波企業の森づくり」森林環境保全活動



「八幡平松尾鉦山跡地」森林再生活動

<環境等への取組事例>

■「もりおかSDGsファンド」(もりおかSDGs投資事業有限責任組合)

当ファンドは、地域における社会課題の解決、起業家・経営革新企業の創出、コロナ禍からの復活を投資テーマとし、盛岡広域の自治体との連携のもと、SDGsに基づく17のゴールの達成、社会課題の解決に取り組む企業への資金供給と経営に対するハンズオン支援を通じ、事業の成長、雇用拡大、地元経済・産業の発展に貢献するものです。

(令和4年9月末時点での投資実績は、12社84百万円)

令和3年1月、当金庫、盛岡市、滝沢市、矢巾町、投資会社であるFVC Tohoku(株)により設立され、4月には紫波町加入(令和3年度・4年度、当金庫職員が、各1名FVC Tohoku(株)へ1年間出向)

	会社名	事業内容	所在地	設立
1	株式会社盛岡書房	古本販売事業	盛岡市	2021年2月
2	株式会社工藤	襦袢を使ったリメイク品 欧米古着の仕入販売	盛岡市	2021年2月
3	株式会社トータルサポート唯一	家財整理・就活アドバイス・不用品回収等 身のまわりに関するお困りごとサポート	盛岡市	2021年1月
4	株式会社コレクカフェ	レストラン経営、キッチンカー出店、 キッチンカー製造・販売・コンサル	滝沢市	2020年10月
5	株式会社URBAN GLOCAL JAPAN	マルシェイベントの企画運営 地域創生コンサルティング(SNSの運用代行)	盛岡市	2021年6月
6	株式会社クオントディテクト	DNA腫瘍マーカーを用いたがんのモニタリング	盛岡市	2021年4月
7	株式会社興縁	岩手県内の幼稚園生～中学生を対象とした プログラミング教育事業	八幡平市	2020年9月
8	株式会社hachi hachi	美容室、医療美容サービス	盛岡市	2021年10月
9	筑波フォレスト株式会社	循環型林業生産事業	八幡平市	2021年3月
10	株式会社クラシカウンスル	伝統工芸の産業振興及び普及、技術継承に関わる事業 伝統工芸品の開発製造、地場産品等の販売事業	盛岡市	2020年12月
11	株式会社東北医工	医療用および福祉機械器具の企画、開発、 製造および販売など	盛岡市	2022年5月
12	株式会社マーケティングプラス	広告宣伝事業 YouTube作成代行	盛岡市	2021年12月





もりおかSDGsファンド





ファンドの趣旨 SDGs(持続可能な開発目標)に基づく17のゴールの達成及び社会課題の解決に寄与する株式会社への資金供給と経営支援を行います。
社会性と収益性の両立を図る企業や事業を中心に支援を行います。

ファンドの特徴 **業種・業歴・規模の制限はありません。**
※未上場の株式会社が対象ですが、法人成りや組織変更もサポートします。

ファンドの対象
※株式上場を目指さない企業の方でも支援可能

エリア → 盛岡広域・岩手県北地域に本社又は拠点を置く企業

対象事業主 → 新規創業、第二創業、個人事業主、合同会社など



投資キーワード

- SDGsに基づく17のゴール
- 社会課題解決
- 社会起業家
- 地域おこし協力隊
- ウィズコロナ・アフターコロナ
- 事業承継
- 大学発ベンチャー
- 起業・創業

ファンドの概要

1) ファンド名称	もりおかSDGs投資事業有限責任組合(略称:もりおかSDGsファンド)
2) 設立日	2021年1月15日設立
3) 運用期間	設立日より10年間(延長期間は最長2年)
4) ファンド総額	199百万円
5) 投資金額	概ね5百万円～10百万円(投資額の上限はファンド総額の20%まで)
6) 出資者	有限責任組合員:盛岡信用金庫、盛岡市、滝沢市、矢巾町、紫波町 無限責任組合員:FVC Tohoku株式会社

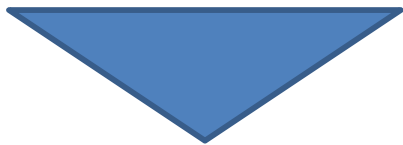
<環境等への取組事例>

■「象と花」プロジェクト（本の循環スキーム）

「もりおかSDGsファンド」の投資先である(株)盛岡書房様は、当金庫と連携し、令和3年8月、古本をクリーニングしたうえで、専用HPで販売し、売上の10%を絵本の購入代金に充て、慢性疾患等で長期入院中の子供たちへ新品の絵本を贈る「象と花」プロジェクトを開始しました。

当金庫では、全23店舗に古本回収ボックスを設置し、お客さまや当金庫役職員から古本の寄付を募り、令和3年10月には、4,000冊に達しました。

当金庫をはじめ寄付された古本は、(株)盛岡書房様が回収し、上記スキームに基づき、地元書店のさわや書店様が新品の絵本を53冊選書し、10月27日、岩手医科大学附属病院の無菌病棟に入院する子供たちへ、第1回目の寄贈をしました。



本プロジェクトは、本の循環スキームとして全国的にも珍しい取組みであり、当金庫が主体的にお客さまやマスコミ等へ働きかけたことに伴い、協力企業も増え、取組みが浸透しています！



令和3年8月23日（月） 岩手日報掲載記事

- ・本資料は、作成日現在の情報をもとに作成しており、今後の状況等により変更となる場合もありますので、記載の内容・数値等は将来にわたって保証されるものではありません。
- ・本資料のご照会等については、以下連絡先をお願いします。



もりしん

あなたのそばに もっと身近に

120 信 盛岡信用金庫

もりしん
スマイル

当金庫は、令和5年1月19日をもちまして創立120周年を迎えました。これもひとえに、皆さまのご支援とご厚誼の賜物と深く感謝し、心より御礼申し上げます。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

企画部 高木

住所：〒020-0871

盛岡市中ノ橋通1-4-6

電話：019(623)2221